

授 業 名	臨床実習	授 業 形 態	実 習
		配 当 学 期	3 年(前期・後期)
担 当 教 員 名	仲山 晃生、島本 裕士 上村 朋久、春芳 準朗	単 位 数	12 単位
		時 間 数	480 時間
概 要	<p>【テーマと目標】</p> <p>学校で学んだ知識を臨床の場で実際に行い、言語聴覚士としての必要な臨床的問題解決能力を身に付ける。また、臨床場面で交流を通じて、人間性豊かな言語聴覚士を目指す。</p> <p>【内容と計画】</p> <p>失語症、運動性構音障害、嚥下障害、言語発達障害などの利用者に対して、治療や訓練過程の方法を学ぶ。</p>		
評 価 方 法	実習指導者の評価に基づき、学科で合否の判断を行う。(最終評価は3年後期)		
教 科 書 参 考 図 書	特になし		
履 修 上 の 留 意 点	今まで学習した知識を使いますので、赴く施設の特性に応じた学習をしておくこと。		
メ ッ セ ー ジ	長期にわたり実習を通じて臨床能力を養う授業となります。評価・訓練から症例報告書などを作成する過程が含まれていますので、毎日の積み重ねが大切です。		